



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2016年(平成28年)5月25日号 No.1694

## 目次

■ 2016年1～3月のロシア経済 — マイナス成長も減少幅は縮小 —	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2016年6月号のご紹介	10
■ モスクワほっとニュース モスクワで1、2を争うクオリティの寿司屋「フミサワ寿司」/11	11
■ エトセラ ROTOBOモスクワ・エカテリンブルグ経済ミッション/12	12
■ トピックス AIBがタジキスタン道路プロジェクトに融資/13 「日ロさけ・ます漁業交渉」が妥結/13	13

## 2016年1～3月のロシア経済 — マイナス成長も減少幅は縮小 —

### はじめに

ロシア連邦統計局、および、同関税局などより2016年1～3月のロシアの主要経済指標、ならびに、対外貿易高が発表されたので、本速報ではこれらデータを図表にまとめてご紹介する。とくに、鉱工業生産に関しては、すでに1～4月の数値が発表されているのでそちらをご紹介する。

2016年に入り、石油価格が持ち直したことに伴いルーブル・レートも若干ながら上昇に転じた。こういった状況を受け、ロシア連邦経済発展省のウリュカエフ大臣は、現在、ロシアが置かれている立場は厳しいものの、それに経済が適応することで、更なる経済成長は可能と主張している。また、専門家の間でも2016年ロシアの経済成長について、マイナス成長は続くものの下げ幅は減少するとの見方が優勢となっている。以前の水準には未だ遠いものの、こういった経済の好材料がロシア版「新常态」における経済成長論を後押ししているのは疑う余地はない。今後の動静が注目される。

### 主要経済指標

ロシア連邦経済発展省の発表によると、2016年1～3月のGDP成長率は1.4%の減少となった。2015年に続きマイナス成長は続いたものの、減少幅は縮小した。それぞれの経済指標を見ると、農業をのぞく、すべての指標でマイナスとなっている。しかし、商品小売販売高と輸入の減少幅が縮小したことに加え、インフレ率も2015年の12.9%と比較すると4.5ポイント減少し8.4%になっており、国内市場の状況が落ち着きを取り戻しつつあると推察できる。